

結果概要

1. 人口総数

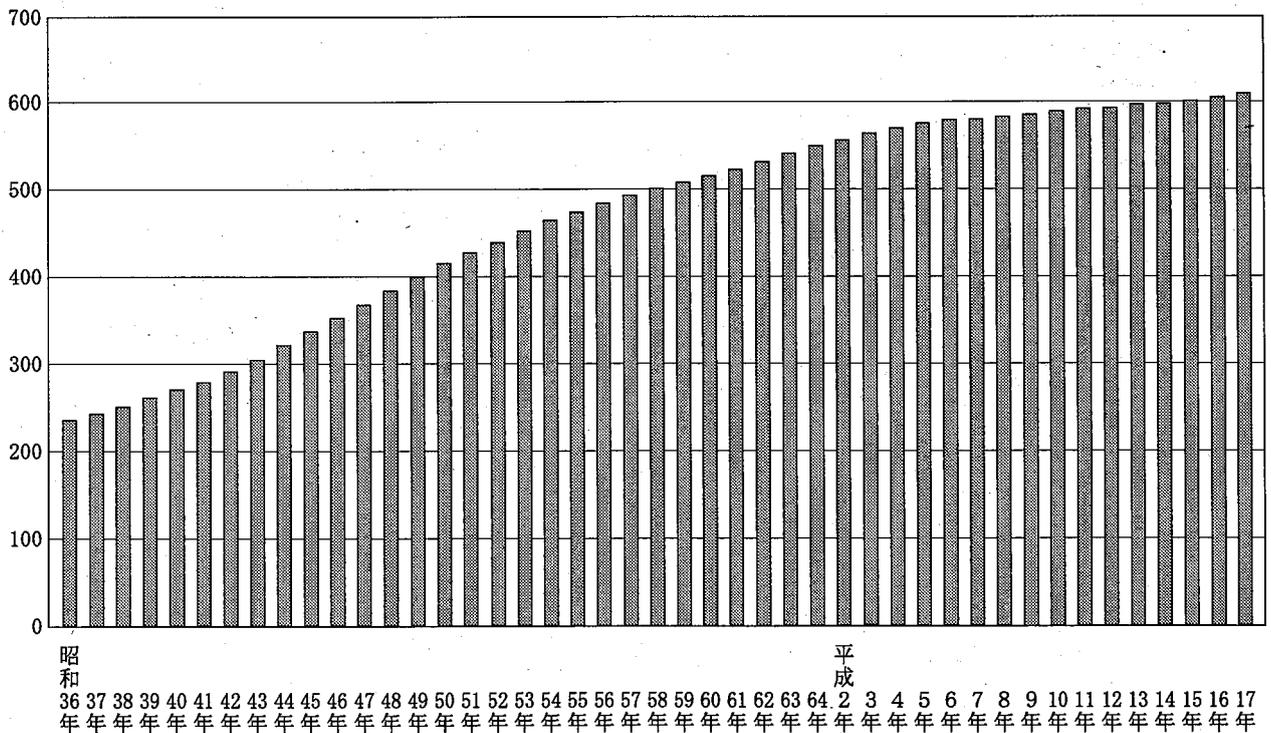
県人口605万人

平成17年1月1日現在の本県の人口は6,050,603人で、前年人口の6,033,266人に比べ17,337人、率にして0.29%増加した。本県の人口は、大正9年10月1日現在（国勢調査）1,336,155人で、その後増加を続け、昭和49年11月1日現在では400万人を超えて、4,002,808人となった。さらに、昭和58年10月1日現在では500万人を超え5,002,542人となり、平成14年9月17日に600万人を突破した。

平成12年国勢調査（平成12年10月1日現在）によると、本県の人口は、5,926,285人で全国第6位となっている。

図1 千葉県人口の推移（各年1月1日現在）

（単位：万人）



千葉市人口91万9千人
県人口の15.2%を占める

平成17年1月1日現在の県人口を市町村別にみると、市部（33市）のうち10万人以上の市は15市あり、そのうち千葉市が91万9千人（県人口に占める割合15.2%）で最も多く、郡部人口60万8千人（同10.1%）より多くなっている。以下、船橋市56万9千人（同9.4%）、松戸市47万4千人（同7.8%）、市川市46万5千人（同7.7%）、柏市33万3千人（同5.5%）の順で続き、この5市で県人口の45.6%を占めている。

郡部（41町5村）では、大網白里町が4万9千人（同0.8%）で最も多く、以下、沼南町4万7千人（同0.8%）、小見川町2万5千人（同0.4%）、栄町2万5千人（同0.4%）、成東町2万4千人（同0.4%）の順となっている。

図2 10万人以上の市

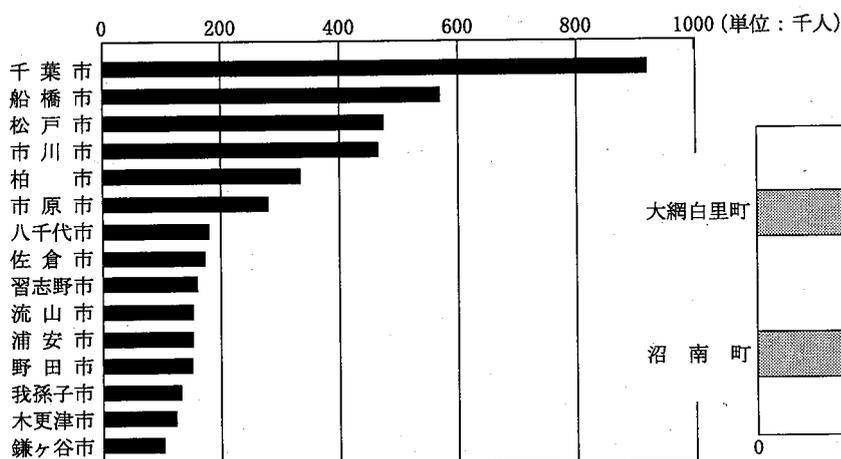
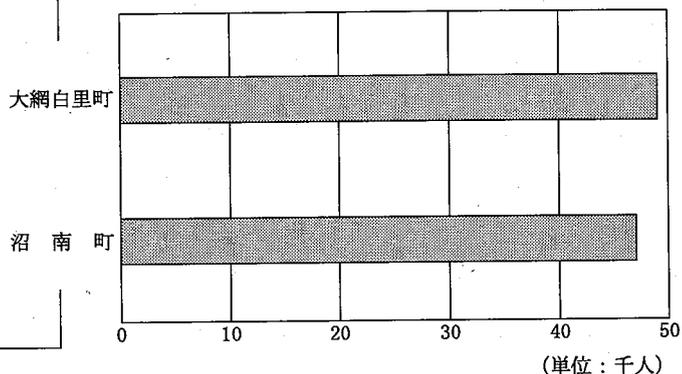


図3 3万人以上の町



2. 人口増加

人口増加数1万7千人
増加率0.29%

平成16年中の本県の人口増加は、増加数17,337人、増加率0.29%で、前年（27,081人、0.45%）より減少した。

近年の人口増加の推移を増加率で見ると、昭和42年から49年までは4%以上の増加率であったが、昭和57年からは1%台で推移、平成5年には1%を割り、平成16年には0.29%となった。

自然増加数は減少

平成16年中の自然増加は、増加数12,058人（出生54,029人、死亡41,971人）で、前年の12,767人（出生53,538人、死亡40,771人）に比べ出生が491人増加し、死亡が1,200人増加して自然増加数は709人減少となった。

近年の自然増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する自然増加総数の割合）で見ると、昭和42年から54年までは1%以上の増加率であったが、昭和55年に1%を割り、平成元年以降は0.5%を下回って推移し、平成16年は0.20%となった。

社会増加数は減少

平成16年中の社会増加は、増加数5,279人（転入195,135人，転出188,902人，県内の移動-1,455人，その他501人）で，前年の14,314人（転入207,073人，転出190,246人，県内の移動-1,094人，その他-1,419人）に比べ転入が11,938人減少し，転出が1,344人減少し，県内の移動が361人減少し，その他が1,920人増加して，社会増加数は前年に比べ9,035人の減少となった。

近年の社会増加を増加率（各年1月1日現在人口に対する社会増加総数の割合）でみると，昭和37年から昭和50年までは2%以上の増加率で，そのうち昭和44年は，3.97%と4%に近い高い増加率であったが，昭和51年以降は1%前後の増加率で推移し，平成16年には0.09%となった。

図4 人口増加率の推移（昭和36年～平成16年）

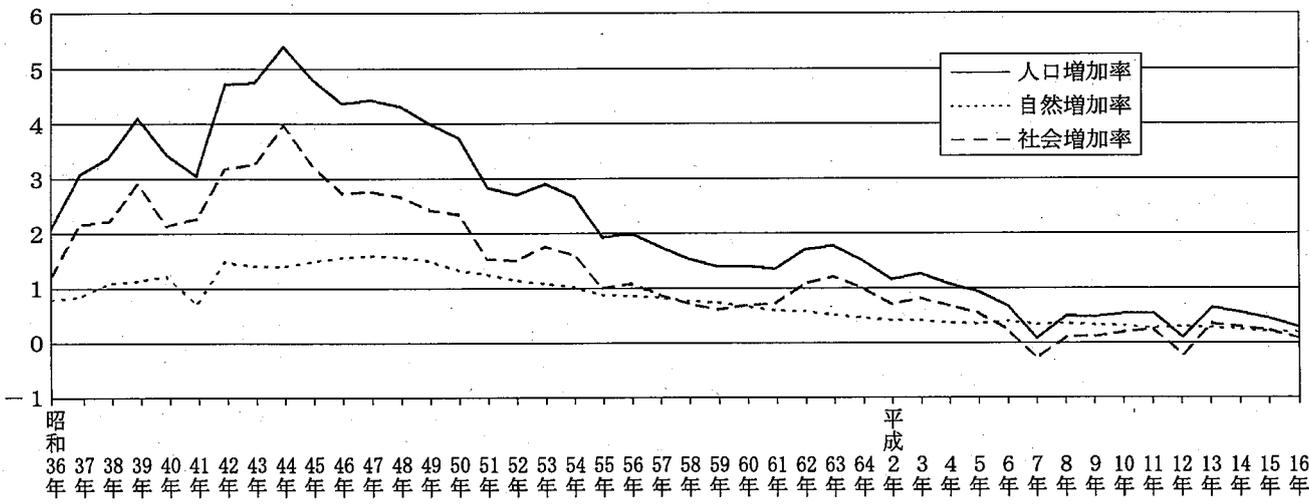


表1 月別動態別人口増加数（平成16年中）

（単位：人）

	人口増加	自然増加			社会増加				
		増加数	出生	死亡	増加数	転入	転出	県内の移動	その他
1月中	-332	412	4,900	4,488	-744	11,608	11,774	-602	24
2月中	-431	554	4,204	3,650	-985	11,727	12,143	-644	75
3月中	-3,854	884	4,796	3,912	-4,738	35,780	39,057	-1,332	-129
4月中	14,018	1,099	4,460	3,361	12,919	31,271	20,447	1,633	462
5月中	3,812	1,067	4,438	3,371	2,745	13,169	10,814	278	112
6月中	2,164	1,401	4,443	3,042	763	12,373	11,893	37	246
7月中	-1,702	1,363	4,494	3,131	-3,065	13,471	16,213	-447	124
8月中	495	1,469	4,767	3,298	-974	14,898	15,746	-152	26
9月中	-48	1,386	4,455	3,069	-1,434	13,099	14,083	-518	68
10月中	1,763	1,000	4,280	3,280	763	13,475	12,740	53	-25
11月中	1,214	784	4,447	3,663	430	12,367	11,850	-67	-20
12月中	238	639	4,345	3,706	-401	11,897	12,142	306	-462
計	17,337	12,058	54,029	41,971	5,279	195,135	188,902	-1,455	501

注) その他とは，職権による記載・消除等をいう。

33市町村で人口増加

最高増加率は浦安市2.72%

平成16年中の人口増減を市町村別にみると、33市町村で人口が増加（平成15年28市町村）し、46市町村で減少した。増加数では、千葉市が5,244人（県人口増加数に占める割合30.2%）で最も多く、以下、浦安市4,022人（同23.2%）、船橋市3,355人（同19.4%）、八千代市1,881人（同10.8%）、習志野市1,447人（同8.3%）と続いている。逆に、減少数では銚子市が803人で最も多く、以下、富津市541人、君津市413人、佐原市402人、勝浦市303人の順となっている。

また、人口増加率では浦安市が2.72%で最も多く、以下、酒々井町2.26%、白井市1.19%、八千代市1.06%、成田市1.01%と続いている。逆に減少率では干潟町が1.52%で最も高く、以下、大多喜町1.41%、勝浦市1.34%、千倉町1.31%、夷隅町1.28%の順となっている。

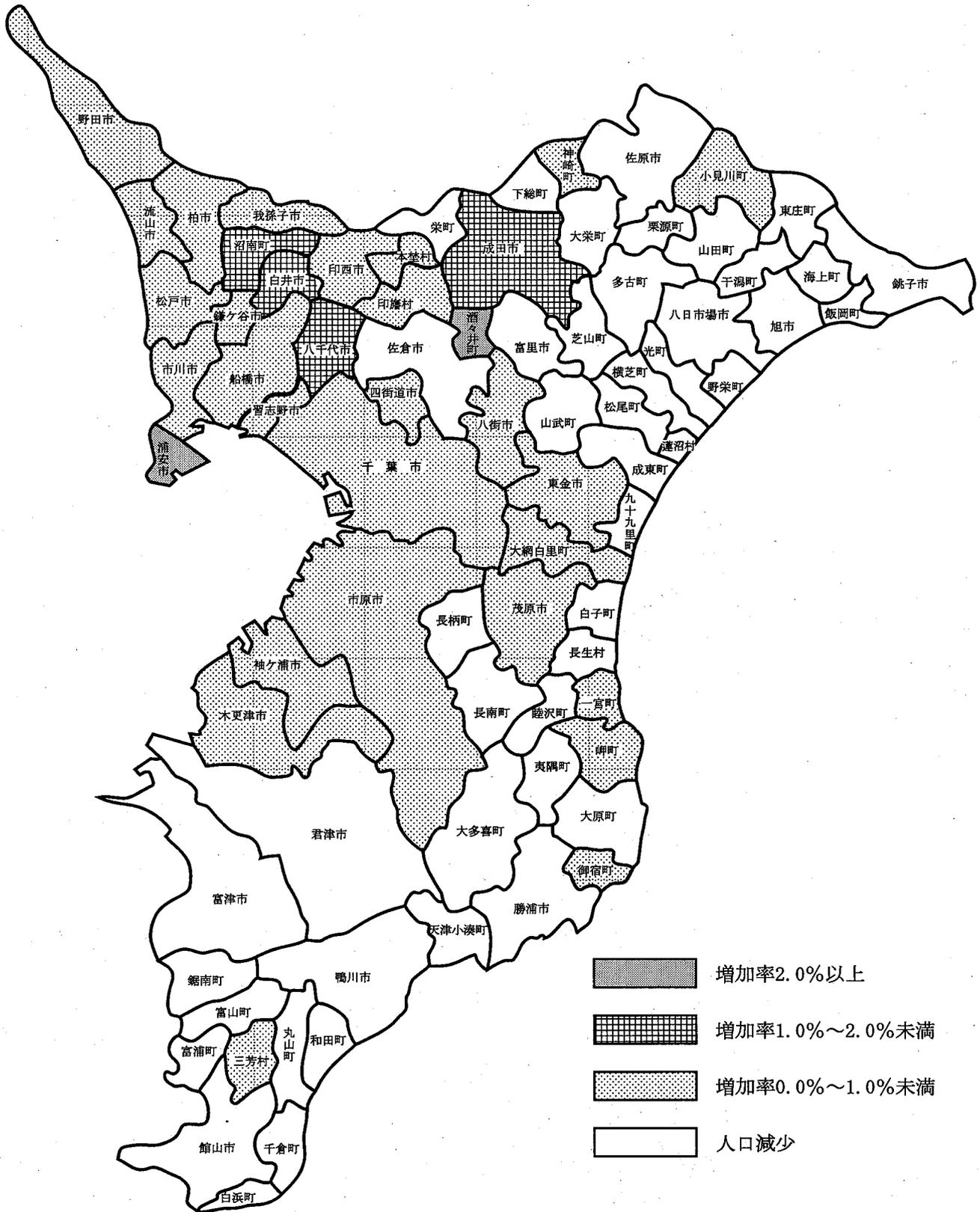
表2 人口増減数上位5市町村（平成12年～平成16年）

順位	平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年	
	市町村	増加数								
1	千葉市	7,446 ^人	千葉市	8,725 ^人	千葉市	8,730 ^人	千葉市	7,611 ^人	千葉市	5,244 ^人
2	柏市	3,642	市川市	7,077	船橋市	6,196	浦安市	6,050	浦安市	4,022
3	浦安市	3,386	浦安市	4,871	市川市	5,543	船橋市	4,471	船橋市	3,355
4	八千代市	1,385	船橋市	4,766	八千代市	3,216	八千代市	2,181	八千代市	1,881
5	東金市	1,351	松戸市	3,108	浦安市	3,028	松戸市	2,152	習志野市	1,447
順位	平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年	
	市町村	減少数								
1	市原市	1,996 ^人	銚子市	643 ^人	銚子市	861 ^人	銚子市	960 ^人	銚子市	803 ^人
2	野田市	1,561	富津市	486	富津市	506	富津市	549	富津市	541
3	君津市	1,173	小見川町	368	佐原市	479	野田市	504	君津市	413
4	佐倉市	1,061	館山市	365	印西市	371	佐原市	358	佐原市	402
5	銚子市	919	君津市	364	君津市	318	勝浦市	343	勝浦市	303

表3 人口増減率上位5市町村（平成12年～平成16年）

順位	平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年	
	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率	市町村	増加率
1	印旛村	11.33%	印旛村	5.91%	浦安市	2.18%	浦安市	4.27%	浦安市	2.72%
2	本埜村	5.18	浦安市	3.64	印旛村	2.08	白井市	2.63	酒々井町	2.26
3	浦安市	2.60	八街市	1.98	八千代市	1.87	酒々井町	2.20	白井市	1.19
4	東金市	2.30	八千代市	1.63	酒々井町	1.64	印旛村	1.74	八千代市	1.06
5	富里町	1.34	市川市	1.57	市川市	1.21	長生村	1.50	成田市	1.01
順位	平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年	
	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率	市町村	減少率
1	長南町	3.37%	鋸南町	1.54%	睦沢町	2.13%	長南町	2.07%	干潟町	1.52%
2	干潟町	3.16	白浜町	1.50	富浦町	1.75	天津小湊町	2.05	大多喜町	1.41
3	岬町	3.00	小見川町	1.41	下総町	1.68	千倉町	1.70	勝浦市	1.34
4	栗源町	2.13	干潟町	1.39	富山町	1.41	鋸南町	1.65	千倉町	1.31
5	小見川町	2.10	丸山町	1.37	白浜町	1.35	勝浦市	1.49	夷隅町	1.28

図5 市町村別人口増加率（平成16年1月～12月）



4. 人口性比

県人口性比100.2

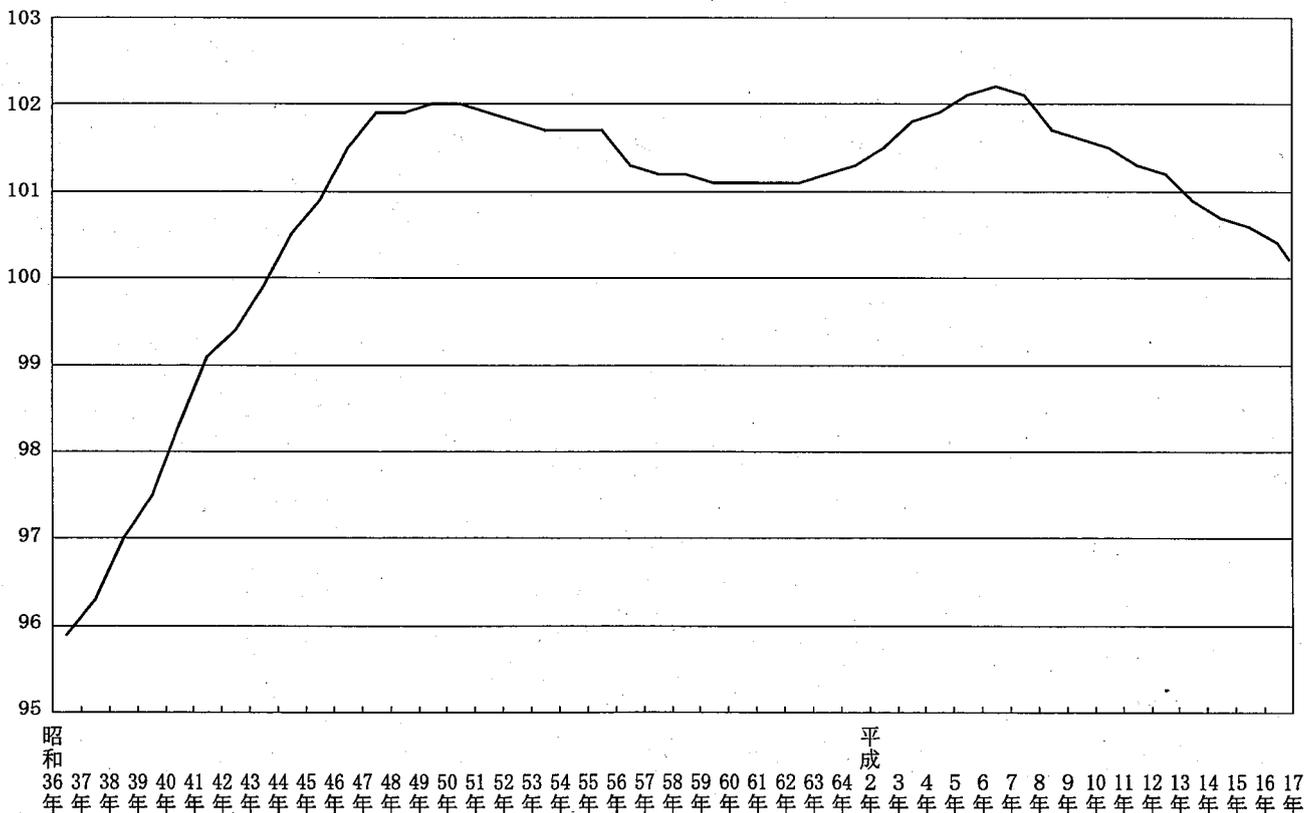
平成17年1月1日現在の本県の人口を男女別にみると、男子3,028,721人、女子3,021,882人で男子が女子に比べ6,839人多く、人口性比（女子100人に対する男子の数）は、100.2で前年（100.4）に比べ0.2ポイント減少した。

人口性比を市町村別にみると、市川市の106.6が最も高く、以下、市原市・勝浦市105.1、浦安市104.4、富里市103.8で、逆に最も低いのは白浜町の84.1で、以下、千倉町88.5、天津小湊町89.6、御宿町89.9、鴨川市90.2となっている。

100以上の市町村は20市町で、100未満の市町村は59市町村となっている。

昭和36年以降の人口性比の動きを各年1月1日現在でみると、95.9から上昇し続け、昭和44年にはじめて男子人口が女子人口を上回り人口性比が100を越え、昭和50年には102.0、以降は徐々に低下したが、昭和63年以降は再度上昇傾向にあり、平成6年には、過去最高の102.2となった。

図7 人口性比（昭和36年～平成17年、各年1月1日現在）



6. 県外との人口移動

人口移動総数38万人
移動率6.35%

平成16年中の県外との移動者総数（転入者数と転出者数の和）は、384,037人で前年の397,319人に比べ13,282人減少し、移動率（各年7月1日現在人口に対する移動者総数の割合）は6.35%と、前年の6.60%に比べて0.25ポイント低下した。

1万1千人の転入超過
転入超過率0.10%

平成16年中の県外からの転入者数は195,135人（前年207,073人）、転出者数188,902人（同190,246人）で、転入超過数6,233人（同16,827人）となり、転入超過数は10,594人減少した。

また、平成16年の転入超過率（各年7月1日現在人口に対する転入超過数の割合）は0.10%と、前年の0.28%に比べて0.18ポイント低下した。なお、県外との関係は43の都道府県から転入超過となり、3県へは転出超過となっている。

表5 年次別他都道府県間人口移動総数（平成2年～平成16年）

年次	移動数	移動率	転入超過数	転入超過率	転入数	転出数	千葉県人口 (各年7月1日現在)
平成2	432,300人	7.79%	43,116人	0.78%	237,708人	194,592人	5,546,610人
3	431,533	7.69	44,911	0.80	238,222	193,311	5,608,760
4	437,491	7.70	38,413	0.68	237,952	199,539	5,680,470
5	434,997	7.58	30,987	0.54	232,992	202,005	5,735,511
6	430,738	7.45	14,586	0.25	222,662	208,076	5,781,768
7	421,118	7.24	10,278	0.18	215,698	205,420	5,816,032
8	411,860	7.08	6,586	0.11	209,223	202,637	5,818,369
9	410,182	7.01	7,980	0.14	209,081	201,101	5,849,014
10	409,201	6.96	12,443	0.21	210,822	198,379	5,880,299
11	400,780	6.78	15,562	0.26	208,171	192,609	5,910,682
12	402,748	6.78	13,754	0.23	208,251	194,497	5,943,886
13	405,122	6.80	20,620	0.35	212,871	192,251	5,953,852
14	392,787	6.55	17,385	0.29	205,086	187,701	5,992,362
15	397,319	6.60	16,827	0.28	207,073	190,246	6,020,313
16	384,037	6.35	6,233	0.10	195,135	188,902	6,048,643

表6 千葉県との転入・転出超過上位都道府県（平成12年～平成16年）

順位	平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年	
	都道府県	転入超過数								
1	大阪府	1,934人	大阪府	2,387人	大阪府	2,749人	大阪府	1,648人	大阪府	1,543人
2	埼玉県	1,145	茨城県	1,385	茨城県	1,376	茨城県	1,239	北海道	1,058
3	兵庫県	869	北海道	1,371	宮城県	1,303	北海道	1,033	福岡県	787
4	茨城県	762	埼玉県	1,185	兵庫県	1,086	兵庫県	785	兵庫県	758
5	愛知県	673	宮城県	1,032	北海道	936	福岡県	730	宮城県	750

順位	平成12年		平成13年		平成14年		平成15年		平成16年	
	都道府県	転出超過数								
1	東京都	2,650人	東京都	3,396人	東京都	3,657人	東京都	2,157人	東京都	7,991人
2	群馬県	170	神奈川県	437	神奈川県	1,581	神奈川県	859	神奈川県	1,708
3	神奈川県	157	香川県	2	島根県	20	沖縄県	36	栃木県	103
4	青森県	24	沖縄県	2			佐賀県	19		
5	大分県	15								

7. 人口重心

人口重心は千葉市花見川区
畑町付近

した。

本県の人口重心は、平成17年1月1日現在で、千葉市花見川区畑町付近の東経140度5分11秒・北緯35度39分46秒の位置にあり、平成12年国勢調査（平成12年10月1日現在）時点より南西方向に約300m移動

大正9年の人口重心は、市原市瀬又付近であるが、その後、人口重心は北西方向に移動してきている。

注) 人口重心とは、人口の一人一人が同じ重さを持っているとして、地域内の人口を1点で支えて平衡を保つことのできる点をいう。これは、人口の地域分布状況を集約して示す指標の一つである。なお、千葉県人口重心の計算にあたっては、県内各市町村の人口重心がそれぞれ現在の市役所・町村役場にあると仮定した。

表7 千葉県の人口重心の推移（大正9年～平成17年）

年次	東度分秒	北緯分秒	移動距離 km	位置
大正9年	140 12 38	35 32 25	—	市原市瀬又付近
大正14年	140 12 24	35 32 49	0.8	千葉市誉田町付近
昭和5年	140 12 23	35 33 12	0.7	〃
昭和10年	140 12 22	35 33 29	0.5	〃
昭和15年	140 12 9	35 33 50	0.7	千葉市平山町付近
昭和22年	140 11 30	35 34 7	1.1	〃
昭和25年	140 11 24	35 34 18	0.4	〃
昭和30年	140 10 57	35 34 44	1.0	〃
昭和35年	140 10 8	35 35 23	1.7	千葉市仁戸名町付近
昭和40年	140 8 19	35 36 45	3.7	千葉市貝塚町付近
昭和45年	140 6 43	35 37 34	2.9	千葉市轟町付近
昭和50年	140 5 52	35 38 20	1.9	千葉市小仲台付近
昭和55年	140 5 27	35 38 53	1.2	千葉市小中台町付近
昭和60年	140 5 15	35 39 10	0.6	千葉市朝日ヶ丘付近
平成2年	140 5 8	35 39 28	0.6	千葉市畑町付近
平成7年	140 5 20	35 39 49	0.7	千葉市花見川区畑町付近
平成12年	140 5 20	35 39 54	0.2	〃
平成17年	140 5 11	35 39 46	0.3	〃

資料：大正9年～平成12年は、国勢調査結果による（各年10月1日現在）

平成17年は、千葉県毎月常住人口調査結果による（1月1日現在）

図9 人口重心の移動 (大正9年～平成17年)

